

研究名： HIV 感染者の初診時における IGRA 施行についての探索的研究

研究責任者： 呼吸器内科医長 氏名：川島正裕

研究の背景・意義・目的：

HIV 感染者では、結核の発病リスクはきわめて高く、予後は不良です。わが国では HIV 感染者数はやや減少傾向ですが、結核中まん延国であるわが国では HIV 感染者が結核を発病するリスクは欧米先進国に比べ非常に高いといえます。HIV 感染者の結核発症を予防する手段として、インターフェロン γ 遊離試験(IGRA)を行い、IGRA 陽性者に INH を投与するという潜在性結核感染症(LTBI)治療を行うことが推奨されています。わが国において、現在、HIV 感染者の初診段階でこの対策がどの程度行われているかを知るために、全国のエイズ拠点病院に対してアンケート調査を行います。

研究の方法：

- ・対象となる施設

全国に約 350 施設あるエイズ拠点病院。

- ・研究期間

院長の研究実施に関する決定通知発行後～2026 年 3 月 31 日

- ・利用するカルテ情報

通院している HIV 感染者数、初診時 IGRA 施行の有無、IGRA の種類、LTBI の治療の有無、LTBI 症例数等。。

- ・情報の管理

各施設に対して調査票を送り、情報は当院のみで利用します。

研究組織：

調査票を送る施設は全国のエイズ拠点病院（約 350 施設）です。

個人情報の取扱い：

個人を特定できる情報(氏名、住所、電話番号等)は集めません。回答施設の回答内容が特定されない形で報告書を作成します。なお、その他原資料の取り扱い、及び人権の確保についても十分配慮し、当該研究以外の利用は行いません。

ただし、当該研究に関連する研究であり、臨床研究倫理審査委員会で承認を受けた場合は指針に則り利用することができるものとします。

また、研究成果を学会・論文等で発表する場合は被験者の個人情報を一切含みません。

研究計画書等の公表：

研究対象施設の担当者がこの研究に関連した各種データについて知りたい場合は、その情報の開示を求めることができます。また、ご希望があれば、研究計画書や研究の方法に関する資料の閲覧や、ご提供することも可能です。ただし、研究の知的財産等など、情報の種類によっては開示できないものがあります。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

独立行政法人国立病院機構 東京病院
呼吸器内科医長 氏名：川島正裕（かわしままさひろ）
住所東京都清瀬市竹丘 3-1-1 電話：042-491-2111（代）

独立行政法人国立病院機構 東京病院病院長 松井 弘稔